

令和三年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「春」

期間 令和三年二月一日～令和三年四月末

投句数 二、三二五句

特選三句

天

寿福寺へ急ぐ人あり虚子忌来る

神奈川県横浜市 若松 歌子

地

江ノ電や一駅毎の初櫻

神奈川県横浜市 山下 省三

人

朴の花遠見にひとつ谷戸夕日

東京都町田市 星野 佐紀

入選句

一般の部

春めきて花束届く娘の忌日

神奈川県鎌倉市

岩瀬 明子

珍しく今日は善き人風光る

東京都大田区

石井 誠子

魁の白梅一樹尼の寺

神奈川県鎌倉市

遠藤 初恵

春光や三段先の影を踏む

東京都武蔵野市

大内 祐奈

横時雨大仏望む永遠の夢

東京都小平市

太田 瑛仁

春浅き尾根にヤツホー想いこめ

神奈川県鎌倉市

小野寺 信雄

実朝の歌よみがへる梅の下

神奈川県横浜市

加藤 文男

バスケットシューズはいてみたい春の丘

神奈川県横浜市

金子 きよ

春光や座席移して海を見る

神奈川県藤沢市

神谷 章夫

まだ明けぬ谷戸の空ゆく花吹雪

神奈川県茅ヶ崎市

川口 しのぶ

尼寺も訪ねて虚子の忌日かな

千葉県船橋市

栗原 勝風

白藤の滝に打たるる尼の寺

神奈川県鎌倉市

高田 純

神苑に鳩の遊べる花の昼

神奈川県横浜市

田阪 武夫

故郷は異国となりぬ青麦田

神奈川県大和市

寺尾 明子

春深む波の後から波の音

神奈川県横浜市

内藤 令子

白波や七里ヶ浜を春一番

神奈川県鎌倉市

中島 容子

うす紅の椿こぼれて浄土かな

神奈川県横浜市

藤田 康子

春麗揺れるほっぺとべビーカー

神奈川県横浜市

堀田 さやか

一服の抹茶の甘し竹の秋

東京都大田区

真隅 素子

花時の雨に艶めく政子石

神奈川県茅ヶ崎市

松坂 真理子

(順不同)

入選句

子どもの部

あささんぽみどりきらきはるのかぜ

神奈川県高座郡

伊藤 瑠菜

微笑はいつでもどこでもほととぎす

東京都世田谷区

棚澤 直

うつくしいうみとやまなみ春のそら

東京都大田区

南雲 晴弥

たんぽぽはふわふわ飛ぶよ空の上

神奈川県鎌倉市

石黒 絢子

風がふきさくらの花がおどりだす

神奈川県鎌倉市

梶野 葵生

タンポポが風にふかれて出発だ

神奈川県鎌倉市

尾辻 和

さくらの下でけんかしないであやまって

神奈川県鎌倉市

草間 崇旭

おひなさまだんだん止まるオルゴール

神奈川県鎌倉市

下中 歌野

ホームラン桜の木へとつつこんだ

神奈川県鎌倉市

末吉 朔乃介

春休み遊びたいのにならいごと

神奈川県鎌倉市

吉武 真杜

(順不同)